

コンプレッサドレンを水分と油分に分離するドレンマスター®（圧縮空気ドレン処理機）

ドレン処理機 ドレンマスター®「OWD」

特 許

中型 OWD10 / 寒冷地仕様 OWD10-H

水質汚濁防止法の排水基準をクリアーし、ドレン処理費用の大幅な節約が可能

処理濃度 5mg / L 以下（ヘキサン抽出物質）

適応コンプレッサ スクリュー型 37KW 以下

特 長

□無電源、軽量、省スペース（従来機比 50%）

本体電源不要

ランニングコスト 5.3 円 / L

□吸着材の交換が簡単

吸着材は、容器ごと交換し、工場へ返送。

ユーザー様での廃棄物を少量化

□寒冷地仕様をラインアップ

OWD10-H

気温が -10℃ でもドレンが凍結せず処理が可能です。



仕様表

型 式			OWD10	OWD10-H
処理方法	—		集合ドレン処理用	
適用コンプレッサ（目安）	—		37KW 以下（スクリュー型、レシプロ型）	
適用オイル	—		コンプレッサ潤滑油（鉱物油、合成油）	
使用周囲温度範囲	℃		2 ~ 40	-10 ~ 40
使用圧力範囲	MPa		0.29 ~ 0.98	
性能	年間平均処理量	L/Hr	10	
	処理水油分濃度	mg/L	5 以下（ヘキサン抽出物質）	
	総処理量 ※ 1	L	18000	
入口条件	ドレン原水		圧力 0.98MPa 以下の圧縮空気ドレン	
	原水油分濃度上限	mg/L	500 以下	
	ドレン原水温度範囲	℃	2 ~ 40	
電気特性	電源（50/60Hz）	V	—	単相 200
	消費電力	W	—	146
	定格電流	A	—	0.73
外形寸法（W × D × H）	mm		413 × 334 × 1175	
製品重量（乾燥状態）	kg		36	37
ドレン入口	B		Rc1 / 2	
処理水出口	B		Rc1 / 4	
適用圧送ドレントラップ ※ 2			電磁式 / ディスク式	

※ 1 年間平均油分濃度 125mg / L 時の処理水量。（理論）※ 2 これは推奨機種です。詳細は、ご相談ください。

設置上の注意

1. オイルミストフィルタから排出されたオイルは本機に流さず、別に処理してください。
2. 圧送用のドレントラップ（電磁式 / ディスク式）は、2 個以上使用しないでください。
3. 圧送用のドレントラップの排出は、できるだけドレン集合配管の上流から流してください。
4. 入口配管は 10m 以内に、チューブを使用する場合はΦ12 ナイロンチューブを使用してください。
5. 出口配管は 1 / 4B 以上で 5m 以内にしてください。
6. 集合配管の場合、各ドレントラップ排出配管には逆止弁を設置してください。

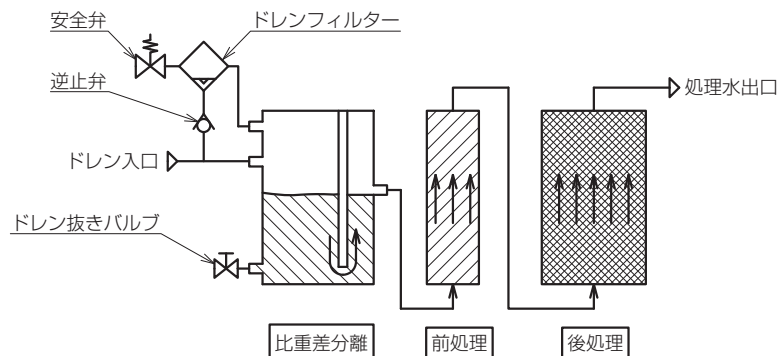
構造と原理

ドレンの流れ

ドレン入口から入ったドレン水は前処理槽で比重差分離処理されたあと、前処理エレメントで粗処理されます。その後吸着槽で油分濃度 5mg / L 以下に処理されます。

作動原理

本機前段のドレントラップ（電磁式 / ディスク式）の排出圧力によりドレン水を圧送します。

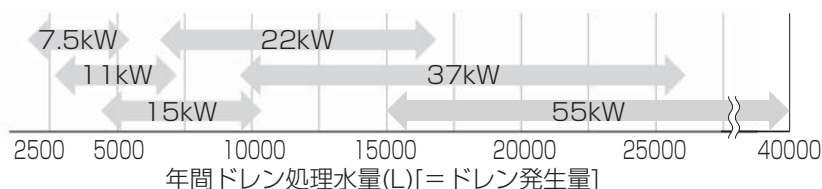


コンプレッサ発生ドレン水量目安

※左記の矢印は、下記の条件で算出した目安です。

年間ドレン処理水量 (= 年間ドレン発生量) は、コンプレッサの稼働条件、負荷率、周囲環境 (温湿度) によって変化します。

コンプレッサ出力別ドレン発生量範囲



○コンプレッサ稼働条件:

10Hr/日、20日/月 (矢印左端)

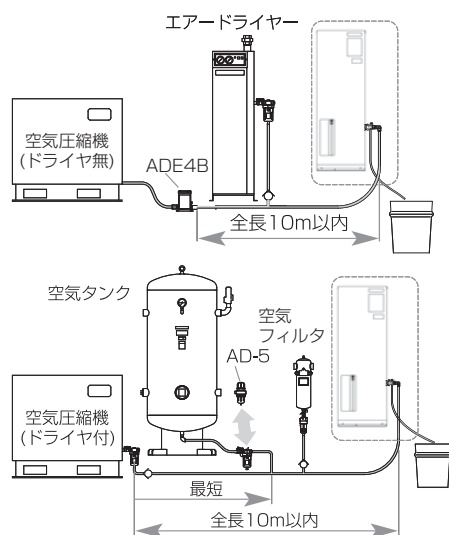
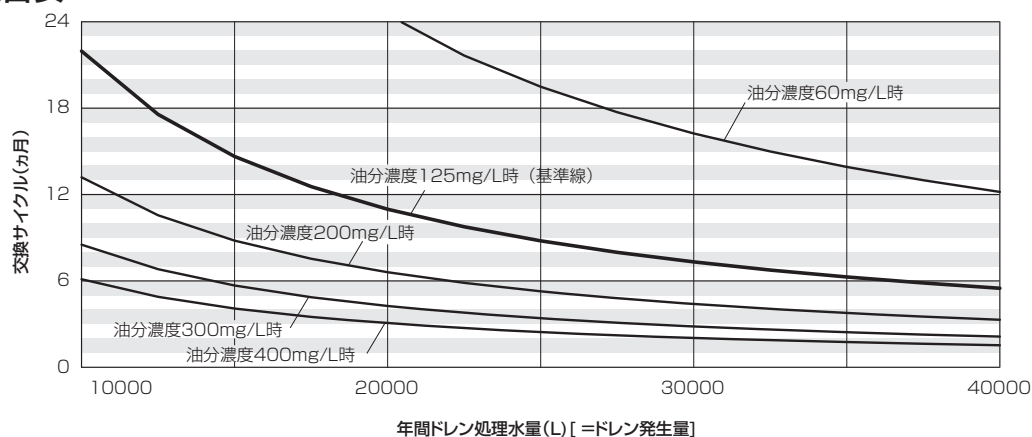
~ 20Hr/日、30日/月 (矢印右端)

○コンプレッサ負荷率: 60%

○吸込条件: 30℃ 60% RH

○ドライヤー通過後条件: 空気圧力 0.69MPa、露点 10℃

吸着槽交換目安



※ いずれか1台のドレントラップを圧送用に交換する。

